

みなさん、少し一緒に考えてみませんか？

問 企画政策課 ☎56-0634

今起きていること…

ひきこもり、不登校、DV、孤立死。今、日本では、多くの人々が誰にも「助けて」と言えず、さまざまな悩みを抱えています。また、高齢の親が、地域から孤立して、ひきこもりの状態にある中高年のこどもの生活を支える「8050問題」、子育てと親の介護を同時に担う「ダブルケア」など、個人や世帯が抱える課題は、複合化・複雑化しています。

それらは市内でも身近に起きています。

《長久手で起きている事》

ひきこもり相談	51人 (2019年度)	妊娠時の不安率	38.9% (2019年度)
不登校	85人 (2019年度)	老々介護	約200人 (2016年度)

しかし、これらの人たちも、氷山の一角でしかありません。どこに相談していいかわからない、相談できる人が周りにいない、誰にも「助けて」と言えない人がおそらく他にも大勢いるのです。市役所は「相談があった」、「問題が発覚した」ときに対応はできますが、声が上がらるまではその現状をなかなか知ることはできません。イラストの水面下に隠れている人たちのことは、把握ができないのです。

市役所で把握できている人たち

困っているけど誰にも相談できていない人たち

一方でこんなことも…

来る超高齢社会、さらには南海トラフ大地震。これからも住みよい長久手であるには、これらを乗り越えていかなければなりません。



今、あなたにできることを考えよう！

誰もが安心して暮らしていくには、市役所の力だけでなく、みなさん同士で協力し、助け合っていく必要があります。

でも、よく知らない人と助け合えますか？
悩みを打ち明けられますか？



「あなたの“いつも”をチェックしてみませんか」

- 知らない人とはあいさつをしていない
- 近所のことを知らない
- ちょっとした困りごとを周りに相談したことがない
- 周りに気になる人がいるが見て見ぬふりをしている
- 人とのかかわりをもちたくない

あなた自身が悩んだときに、誰かに相談できる。誰かが悩んだときに、あなたに相談できる。そんな“つながり”が大切です。

今日からあなたにできること

- ・あいさつ、声掛けをしよう
- ・イベントに参加してみよう
[P4~6 に市民が中心となって行っているイベントを掲載しています。ぜひ参加してみてください!!]
- ・困ったら相談してみよう
[P7 に各種相談の情報を掲載しています。]
- ・困っている人には声をかけてみよう

顔見知りも
増やそう

将来も住みよい長久手であるために
最初の一步を踏み出そう。